

のぎく だより 6月

“ 6月10日（雑節） ～ にゅうばい入梅 ～ ”

芒種後の「壬（みずのえ）」の日です。梅雨に入るころを指し、この日から31日間が梅雨の期間とされます。

※芒種（6月5日（二十四節季））

「穂が出る穀物（こくもつ）の種をまく」という意味で、田植えを始める時期に当たります。「芒」の字は「のぎ」とも読み、イネ科の植物の穂先（ほさき）にある細い毛のような部分のことです。麦の収穫時期でもあることから、「麦秋（ばくしゅう）」ともいいます。この「秋」は季節を表すのではなく、「実りのとき」という意味です。



【「梅雨入り」との違い】

「入梅（にゅうばい）」は、季節の変わり目の目安として設けられた「雑節」のひとつです。「梅雨入り」は、梅雨に入る「時期を指す言葉」で、気象庁の梅雨入り宣言が目安となり、地域や年ごとに異なります。

【「梅雨」は どうして「梅」という漢字を使うの？】



「雨で湿度が高く、カビが発生しやすい時期であることから、『徼雨（ばいう）』と呼ばれていたが、同じ読みでより語感が良い『梅雨』に転じた」という説や、「梅の実が熟す時期の雨であることから『梅雨』となった」など、諸説があります。

【「梅雨時期に降る雨」の種類】

- 走り梅雨（はしりづゆ）…本格的な梅雨に先駆けて、5月中旬から6月中旬に降り続く雨
- 五月雨（さみだれ）…旧暦5月（現在の6月）に長く降る雨
- 男梅雨（おとこづゆ）…激しく降り、その後すっきり晴れる雨
- 女梅雨（おんなづゆ）…しとしと降る雨
- 送り梅雨（おくりづゆ）…梅雨が明ける直前に降る大雨
- 戻り梅雨（もどりづゆ）…「返り梅雨（かえりづゆ）」ともいい、梅雨明け後、晴天が続いた後に降る続く雨

【アジサイは日本の花】

アジサイは、日本に自生していた「ガクアジサイ」が元になって世界中に広まりました。国内外で品種改良され、今では2,000種類以上あります。



ガクアジサイ



西洋アジサイ



“ 今月のご当地グルメ ”



全国のご当地グルメが
食べられるよ！みなさん！
お待ちしております！
八王子ナポリタン（東京）
はちはい汁（愛知）
八名丸コロッケ（愛知）
ひきすり（愛知）
人形焼き（東京）



シシリアン
ライス
（長崎）



“ 誕生者のみなさん おめでとうございます ”



木村 俊江様



椿谷 ユキ様



齋藤登起子様



畠山 清美様



のぎくの風景～機能訓練・レクリエーションなど～”

